

香美市教育委員会定例会会議録

(令和5年6月23日)

招集年月日 令和5年6月16日(金)
招 集 場 所 香美市本庁舎 3階会議室
会議の日時 令和5年6月23日(金) 午後1時30分
出 席 者 白川 景子 宮地 憲一 浜田 正彦 西 美紀 小松 麻由
欠 席 者 な し

説明のための会議出席者

教育次長	中山 泰仁
教育振興課長	一圓 まどか
生涯学習振興課長	黍原 美貴子
教育振興課対策監	田村 香江
教育振興課総務係長	大峯 啓之
教育振興課学校教育班	山中 さや
生涯学習振興課スポーツ班	影山 達也
香美市図書館	土居 正和

職務のための会議出席者

会議録署名委員

小松委員

傍聴人氏名

な し

(開会時刻 午後1時28分)

教育長 ただ今から、令和５年６月教育委員会定例会を開催いたします。本日、委員の皆様は全員出席です。本会の成立を満たしておりますので、開会したいと思います。

 前回の署名委員は西委員で、小松さんが本日の署名委員ということでございますので、よろしくお願いをいたします。

 それではまず、前会議事録の承認から始めたいと思います。前会議事録のご承認いかがでしょうか。

宮地委員 お願いしました。

教育長 それぞれ依頼を受けていることにつきまして、お取り計らい願いたいと思います。

 では、ご承認をいただきましたので、次に教育長の報告に移ります。

 前回校長会でも、リモートで挨拶をさせていただきましたけれども、今月の９日から１２日まで、北海道のよさこいソーラン祭りへ、積丹町との交流事業の再開の一環として、訪問してまいりました。私と、教育委員会から浜田委員さんにご出席をいただいて、１２日月曜日の夕刻に戻ってまいったところです。積丹町の町長さんはお替わりございませんが、教育長さんであられた十河さんが副町長に就任をされました。新しく原教育長さんが就任なさっておいでましたので、名刺交換、協議等を行ってまいりました。以前から、リモートで話をさせていただいたところではございますけれども、今年度から、積丹町と香美市内の子ども達との交流を、教育委員会として再開をしたいので、よろしくお願いをしたいというお話が改めてございまして、こちらからもお願いをしたいということを申し上げました。

 そして、８月には香美市の教育委員会の事務局から、積丹町を訪問させていただいて、新任の原教育長さんのもと、具体について話し合いをしてくるという段取りになっております。全体的な計画といたしましては、以前にお話しさせていただきましたように、交流の学校をその都度その都度、子ども達を応募するのではなく、学校を一つ決めておいて、そこと積丹町の子ども達との交流を基盤に、香美市の子ども達全体へ交流を広げていく、ということにしたいと考えております。具体的には、大栃小学校と積丹町の子ども達との交流がメインになると。大栃小学校の子ども達が隔年で積丹町に、と考えているところですが、実施はなかなか厳しいであろうとも考えております。積丹町からは、今のところ毎年というお話ではございますけれども、児童生徒総数６０人弱です。４小学校、１中学校と認識しておりますけれども、それらを全部集めても６０人弱ということで、本当に極小規模になっている中、どういう交流を進めていくのかというこ

とについて、新しい方法を探っていくとことになっています。予算の関係上、毎年来られるということが可能かどうかも含めて、積丹町もお話をされるということも少し聞いておりますので、そういう方向で進むことになります。併せて、今年度はもう再開をしたいということですので、積丹町の小学生が、香美市を訪問してくださるということでございます。詳細が決まりましたら、報告させていただきますけれども、香美市としましては、大柵小中学校で受け入れをし、ホームステイということではなく、べふ峡温泉のホテルを借りて合宿、研修をして、物部町、土佐山田町のいろいろなところに触れていただくと。学習も1日目には、一緒に総合学習も行って見てはどうか、と考えているところです。大柵小学校の校長にはもう既に、継続についてもこういう方向で行きますから、ということで連絡をしております。来週でしたかね、田村さん。

田村対策監 7月14日です。

教育長 7月にはちょうどCSの会がございまして、大柵小学校のPTAの会長さん、副会長さんとCSの会長さん達とで話し合いをさせていただいて、正式にご了承いただきたいと考えております。
長くなりましたけれども、3泊4日、大変有意義な研修となりましたことをお伝えいたします。
この件について浜田委員さんから何か報告ございますか。

浜田委員 特には無いんですけど、積丹町との交流は今回で32回目、また、姉妹都市20周年記念ということで、私はそのうち第7回から、8回目の参加です。今年は記念ということもあり、ちょっと人数も多く参加し、その一員として教育長に同行しました。新しい原教育長さんについては、道庁のほうから来られた方で、前向きにやっていかなくちやいけないですね、というご返事だったので、良かったなという思いです。以上です。

教育長 ありがとうございます。それでは、報告事項については以上でございます。
何かご質問、ご意見等ございませんか。
それでは、議事に入りたいと思います。
本日の議案第1号、通学区域（校区）外通学について、担当より説明をいたします。

議案第1号「通学区域（校区）外通学について」

(議案第 1 号は非公開審議案件)

教育長 続きまして、議案第 2 号、香美市立中学校部活動検討委員会設置要綱の一部を改正する告示の制定について、事務局より説明を申し上げます。

議案第 2 号「香美市立中学校部活動検討委員会設置要綱の一部を改正する告示の制定について」

事務局 (議案説明)

教育長 この件に関しまして、ご質問、ご意見等よろしく願いをいたします。

宮地委員 検討委員会の委員を増やすことについては、異議がないんです。今の国の状況とか、ちょっと見えなくなってきたんですよ。この取り組みについては、急いでやるようにという話があったんですが、どうもそれが何か消えてしまったと言うか、そういうこともありますので、本市としては基礎固めをしっかりと、何が出来るのか、何が出来ないのか、今の段階から考えていく必要があるんじゃないかと思います。検討したからって、すぐ出来るものでもないと思いますので。様々な難しい要因がたくさんございますので、条件整備的なところも事務局として考えておいたほうがいいと思います。意見です。

教育長 ありがとうございます。

浜田委員 当初 10 名で設置をした時に、質問をさせてもらったんですけど、要はその時の返答が、まだまだ事前の段階なので、まずは内部とか学校の先生とか、そういう方を集めてやったんです。これ 12 人に増やしたということは、何か目的があるんですかね。

事務局 前回の会では、定員を 10 人にしておりましたが、小学校、中学校の P T A の代表の方、あと中学校の代表ということで、鏡野中学校の前田校長先生にも来ていただきました。広い意見と言うか、たくさんの意見が出るというものでもなかなかなく、人数を増やすことでいろんな意見をいただければと思い、人数を増やしたところではあります。

浜田委員 まだ体育会とか、スポーツに関する団体の方を増やすという段階ではない、ということで理解してよろしいですね。

事務局 そうですね、まだちょっとお声掛けをするという段階ではないとは思っております。

浜田委員 ありがとうございます。

教育長 ありがとうございました。中学校で大きな課題になるのは、鏡野中学校であろうという事務局サイドの想定で、前田校長先生は非常に見識の高い方でございますので、一手に背負っていただいております。ところが今、事務局から説明がございましたように、もう少し広域で考えていく必要性も見えてきた、ということもございまして、それから残念なことですけど、前田校長先生も今年でいよいよご退職、というところでございますので、新しく入って来られた坂下校長先生、他校の中学校の校長先生達のご意見も拾えるような人数に増やし、広げていくほうが良いだろう、ということで人数を増やしていきました。それで今、浜田委員さんからのお話しにもございましたように、まだまだ勉強段階です。一度は担当にも教育長会議へ一緒に行ってもらったりして、情報を集めたりしましたが、県もはっきりした方向性が無いのと、予算もちょっと削られてきたというような状況を鑑みまして、最低でももう1年ぐらいいは、勉強会をしっかりとっていく方向で行ったほうが良からうかと。これは前田校長先生からも、委員さんからもそういう方向が出されましたので。しかしそうは言っても、もうちょっと広域、香美市全体でどうするかを考えながら、うちとしてはどうしていくかという勉強をしていかないかん。それが本年度の取り組みであろうと認識をしております。

どうですかね。

事務局 そうですね、他の市町村に聞いても、正直言うとあまり進んでない、というところが実際でして、香美市として出来ることを目指す、ということで進めていきたいという思いがございます。

宮地委員 教員の働き方改革と関連もしておりますので、これはもう無くなるということではないと思います。その目途が、どのようになるのかが全然分かりませんが、さっき言いましたように、香美市としてはしっかり準備をしておかなければならないということですね。

教育長 ありがとうございました。他にございませんでしょうか。この文書等につきましては。

他に無いようでしたら、議案第2号につきましては承認ということで

よろしゅうございますか。

「はい」という声あり

教育長 ありがとうございます。それでは、議案第2号は承認をされました。
本日の議案は以上でございます。引き続き報告に移ってまいります。よろしくお
願いいたします。
それでは、報告第1号、香美市立香長小学校学校運営協議会委員の委嘱についま
して、事務局より説明を申し上げます。

報告第1号「香美市立香長小学校学校運営協議会委員の委嘱について」

事務局 （報告説明）

教育長 それでは、報告第1号につきまして、ご意見、ご質問等ございませんでしょう
か。

宮地委員 ありません。

教育長 ありがとうございます。
それでは、報告第2号、説明をお願いいたします。

報告第2号「香美市立山田小学校学校運営協議会委員の委嘱について」

事務局 （報告説明）

教育長 報告第2号につきまして、ご質問、ご意見等ございませんか。

宮地委員 ありません。

教育長 ありがとうございます。
それでは、報告第3号につきまして説明をお願いいたします。

報告第3号「香美市立山田小学校学校運営協議会委員の委嘱について」

事務局 （報告説明）

教育長 ご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

宮地委員 ありません。

教育長 続きまして報告第4号、香美市立図書館協議会委員の委嘱につきまして、担当より説明申し上げます。

 報告第4号「香美市立図書館協議会委員の委嘱について」

事務局 （報告説明）

教育長 この件につきまして、ご質問、ご意見等ございませんか。

宮地委員 鳥取市に住んでおられる？

事務局 そうです。

宮地委員 年に3回ぐらいあるんですかね。

事務局 5回ありまして、現在1回が終わり、来月2回目です。遠隔地にお住まいということで、Web会議システム、Zoomを使って参加をしていただく形になりますので、費用弁償等の予算が必要ないということになります。

宮地委員 直接図書館に来られてやることも必要やろうね。Webだけじゃなくて、実際図書を見てもらっても必要ですからね。

事務局 かみーるが出来る前に一度、旧館の時に来られて、開館の後にも一度。それこそ今日、本日午前中にオーテピアの図書館の会が、かみーるで行われてまして、その時に来られてました。

宮地委員 分かりました。

教育長 その件についてもう少し詳細に報告を。

生涯学習振興課長 今朝、オーテピアのサービス計画の委員さん達が、かみーるにおいでいただいておりまして、凄く褒めていただきました。ただ、これをどんどん進めていく為

には、予算をもらわんといかんねっていう話をされたので、来年度の予算要求を頑張らないかなと思ってます。

それと、オーテピアの本を、かみーるで借りる人が凄く多いという説明が、山重さんからありまして、かみーるで成功したということは、オーテピアを活用する図書館を、高知県内にどんどん広めていくべき、ということの先駆者になるよという話で、いろいろ褒めてもらっておりました。

教育長 併せて。

生涯学習振興課長 併せて、山重さんが説明にするに当たって、いろんなことをするべきと、農業の本を置きなさいとか、専門書を置きなさいとか、いろいろと提案されました。その提案を受けて山重さんは、この図書館は、まず何をしても成功するであろうと思う図書館だということを、委員さんの前でも話されておりましたので、自信を持って誇れる図書館が出来ているんじゃないかと、今日、再度確認しました。

浜田委員 蔵書としては6万何ぼの、市の規模では小さい。だからそれをオーテピアとかいろんなところへ結び付けて、大きくしていくネットワークというのが大事で。当初の目的もあったので、その部分を聞いてちょっとホッとしております。

教育長 それでは、本件に関しまして他にご質問等ございませんでしょうか。

「はい」という声あり

教育長 続きまして報告第5号、香美市少年育成センター補導部育成補導委員の委嘱につきまして、説明申し上げます。

報告第5号「香美市少年育成センター補導部育成補導委員の委嘱について」

事務局 (報告説明)

教育長 ご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

それでは、以上が報告第5号でございました。

続きまして報告第6号、香美市教育振興基本計画検討委員の委嘱につきまして、報告よろしく願いいたします。

報告第6号「香美市教育振興基本計画検討委員の委嘱について」

事務局 (報告説明)

教育長 ご質問、ご意見等ございませんか。

「ありません」という声あり

教育長 それでは、報告第7号、令和4年度香美市教育委員会施策に関する点検・評価をおこなう委員の委嘱について、ご説明申し上げます。

報告第7号「令和4年度香美市教育委員会施策に関する点検・評価をおこなう委員の委嘱について」

事務局 (報告説明)

教育長 ご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

宮地委員 私も舟入のCSのメンバーに入った時に、各学校が地区評価を取って、CSの中で評価をしようんですね。学校評価としていろいろしてるんですけど、この場合は香美市の教育施策についての評価ですから、全体ということになりますよね。そうしますと、各学校、全部1校、1校訪問をしてチェックをされようんですね。私も11年も見よって、妙に詳細がよく分からないので、その辺どうなんですかね。

教育長 評価の対象が。

事務局 うちの教育振興基本計画の進捗を見ていただいているということで、学校の取り組みとかに関しては、福石先生には見てもらったことはないですね。

宮地委員 前、中村先生の時には学校へ行きよったよね。その辺が、ちょっと前から分からないところがある。前は学校評価でね、各学校へ全部入ってチェックして、全体の評価としてやってたような気がするんですけどね、田村さん、ご存知ない？

田村対策監 最初、学校評価委員さんとCSとは、別組織で進んでいたのを、CSが立ち上がって数年経った時に、その評価をCSの中に入れていこうという動きがありまして、そういうふうに変わってってます。

- 宮地委員 物凄く煩雑だなあと、私前から思ってた、もうちょっとすっきり、何か行かんもんかなあと思ってたですね、これはこれで、いわゆる振興基本計画全体についての評価になるわけですね。
- 浜田委員 制度的な評価ですね。従来やってるのは、内部的な点検・評価。ＣＳがやってるのは。だから二重になってるわけですね、これは前から言いよったことで。
- 宮地委員 学校の取り組みについても、振興基本計画と重なっている部分があるわけですよ。
- 浜田委員 まあ評価は評価で、それをどう生かすかが出来てない理由部分で。この前から取り上げていただいているのは鏡野中学校。ＣＳが評価したことを、ＣＳが評価プラス提案なんかにしてるので、こうしてくださいと、こういう評価表に書いてます。それを学校側がこの提案に対して回答を、学校経営の中に載せてくるという形になると、その評価は学校の改善行動になって生きてくるという形で。まあ山田小学校と鏡野中学校、それぞれやり方が違って、鏡野中学校の場合は、ＣＳメンバーは全てに対して文章化して評価して、会長のところへ期限を決めて送って、会長がそれをまとめて学校側に提出する。山田小学校の場合は、ＣＳの会で一定の文章化をみんなですて、そこでもう作り上げていく。みんなの意見を、これでえいかこれでえいか、その場で。あとは校長と会長で調整して提出すると。
- 宮地委員 分かりました。
じゃあいよいよ行政の評価ですね、この評価結果を、どういうふうに改善に生かすかということです。施策に生かしていかないかんわけですね。
- 教育長 次期の振興基本計画等に、反映していく必要があろうかと思っております。
- 宮地委員 長期的に見て直さないかん部分、短期的に見て直していかなくやいけない部分があるので、それは各課共通で、しっかり見直していくということが出来ると、行政は伸びていきますから、それが必要じゃないか。ちょっと私、そこがよく分からなかったの。
- 事務局 評価については、毎年度、福石先生に評価していただくので、その内容は各担当が確認しています。次期の教育振興基本計画を策定するに当たっては、委託業者にもデータは見てもらって、去年度はアンケートを実施しています。設問は、福

石先生の評価の内容も踏まえた上で、業者から提案していただいています。一定その評価を踏まえた上で、次期の教育振興基本計画を作るという準備は進めているつもりです。

教育長 実は今回の議会で、山崎議員のご質問の中に、この評価内容についてお話がありました。例えば教育振興基本計画は、なんかちょっとエリート教育っぽい表現ではないかと。私の捉えが間違うちょったら言ってくださいね。ですけどもその評価書の中に書かれている基本方針は、これは素晴らしいものであって、やっぱりこちらが生きるような仕組みを作っていってほしい、というようなお話がございまして、読み比べてくださったんですけども、私もそれはそのように思いました。振興計画の大きな目標も、今いろいろご意見もいただいているところでですけども、見直していく必要があるのかなと思ったようなところですよ。もうちょっとこの評価については、話し合う場を持ちましょうか。

宮地委員 物凄い難しいですから。やっぱりねえ、レベルの在り方ですよ。

教育長 そうですねえ。

宮地委員 レベルの在り方を、もう一回考えてみないかなと思って。何かもやもやしたものを、私もこの11年間持っていました。今のやり方が、良いとか悪いとかいうんじゃないんです。全体として、負担感が増えて来ないような評価、結局評価すると絶対いろいろ言うてきますから、するとどんどん負担が増えてきたりしますのでね。何かもっと、スマートに行くようなことがないのかなと思ってですね。

浜田委員 CSがやってる評価と、ここで福石先生がやってる評価との差。多くの方が、その理解が乏しい、ということがひとつ。それともう一つは、評価しても、それが何の為に活用されて繋がっていくのか。これは多くの市町村の、教育委員会の課題になる。けど、うちは言われてるからやってる。形式的になってるので。やっぱりCSでやる以上は、もうメンバーは理解した上で、そこへ回答していくぐらいの気持ちじゃないと。やっぱり学校から一方的に聞いて、誰かが書いて、はい終わり、じゃいかないうちがする。学校がやってることを学校が評価する、それに対して意見を言えるぐらいのCSメンバーになっておかないと、コミュニティスクールとしての価値は無いんじゃないか。

宮地委員 おっしゃるとおりですね。だから、そのメンバーがおるか。まあ言えば、学校応援団としての位置づけになってますから。だからそこでね、しっかり評価をし

て、学校に物申して改善を求める、ということにはなっていない。本来のＣＳの姿はそれですけど。浜田委員も言われたように、鏡野中はそういうやり方になっちゃうから、これはこれでいいんですね。

教育長 そうですね。

浜田委員 もう一つあって、評価というものは、だんだん良くなってきても、要は良くなってるのが基本ベースになると。それで基本ベースになって、更に上げて行く言うたら、更に難しくなる。

教育長 そうですねえ。

浜田委員 やっぱり、そこら辺もちょっと。

宮地委員 議論しましょう。

教育長 これ、議論したいですね。

宮地委員 議論しておかんと、とても大事なこと。ＰＤＣＡのＣのところよね。すぐ繋がんといかんのでね。

教育長 香美市の場合は、ＣＳも１００％で動いてきているということから考えても、今ここで議題になっているような質的なところを、そろそろしっかり確認をし合って、どこもが標準化されるような方向に、ＣＳも成長させていかないと、ただメンバーが変わって、お手伝い的なことではやっぱり物足りないというところだと思いますので、機会を捉えて、また大峯さんに資料をコピーしてもらって…是非いい話し合いが出来ると思いますので、そういう方向に行きたいかなと思います。

宮地委員 もやもやした、ずーっと思ってましてね。

教育長 学校がＰＴＡとかにアンケートをして、その結果で自己評価を決めるんですよね。

宮地委員 なんかねえ、甘い。お手盛りみたいにどうしてもなってしまうんです。

教育長 どうしても保護者も子どももね、先生の味方をしますもんね、最終的にはね。

浜田委員 まあそうですね、先生が頑張ってやってくれてたら、それ以上のことはない。

宮地委員 だからC Sの会でもね、いやもう一生懸命頑張りゆうき、もうAかBにしようってゆう話ですよええ。気持ちは分かるんです。

西委員 心情的にねえ、そうなりますよね。

浜田委員 学力なんかやったら、数値化されてるので点数によって評価もしやすいんですけど、不登校とか心の問題とか、人数だけでは評価が難しいという問題とかいろいろあるので。

宮地委員 実はこれを議論することが、我々、教育委員会の質も高めることになるんです。

教育長 そうですね、はい。

宮地委員 我々自身の質もこれを議論することによって高まりますから。何もよそがけしからんっていう意味じゃなくて、自分たちが勉強するということなんですよ。それに繋がっていきますから。いい勉強になると思います。

教育長 素晴らしい提案をいただいたと思います。私も質問されても何て答えるって思うようなところもございましたので、大変有難いと思います。
それではまた、このことについてはまた機会を捉えて、出来るだけ早い段階からスタートしたいかなと思いますので、よろしく願いいたします。
それでは、報告の内容につきましては、特に他にご意見、ご質問ございませんか。
以上で全ての、議案、報告を終了いたしましたので、その他に移りたいと思います。ここで一度教育委員会を閉じたいと思います。

(閉会時刻：午後2時19分)